

学校教育目標	校訓『和 なごみ』 「つづける」「つながる」「つくす」 ～自ら学び、みんなと伸び、未来を切り拓く子どもの育成～
--------	---

評価計画

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値
豊かな心（徳）	1	多様な他者を尊重し、協働できる児童の育成	時や場に応じたあいさつの充実を図ることで、学校や地域での「つながり」を大切にしようとする児童を育成する。	○あいさつの例を具体的に示し、目標設定や評価に生かす（目標設定と自己評価、保護者評価）	○「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」など、時間帯や場に応じてあいさつを使い分けられる児童の割合（児童アンケート、保護者アンケート）	90%
確かな学力（知）	2	主体的、協働的に学び続ける児童の育成	「振り返る」活動に視点をおいた単元づくり、授業づくりに取り組むことで、主体的・対話的で深い学びの実現を図り、自ら学び続ける児童を育成する。	○「振り返る」活動に視点をおいた単元づくり、授業づくりに取り組む。	○「たしかめよう」テストにおける正答率（単元テスト）	80%
				○「指導の個別化」により、個々の児童の特性や学習進度等を見取り、その状況に応じた手立てを講じた「振り返る」活動を充実させる。	○標準学力検査（CRT）における正答率40%未満の割合（標準学力検査）	4%
				○「自ら学び続ける児童」に係る項目において肯定的評価の児童の割合（児童アンケート）	85%	
健やかな体（体）	3	健康でたくましい心と体を育む児童の育成	年間を通して運動に親しみ、体を動かす楽しさを実感させることで、運動習慣の確立を図り、自己や集団の目標にチャレンジし続ける児童を育成する。	○体を動かす（運動する）場の設定やロング昼休憩の活用、スポーツイベントの実施等により、3つの間（時間・空間・仲間）を充実させる。特に、体力・運動能力の向上につながるよう、中庭やグラウンドの環境整備を工夫し、遊びの中で多様な動きを経験させる。	○新体力テストにおける課題種目について年2回の調査（6月と12月）を実施し、結果が向上した児童の割合（新体力テスト）	85%
地域とともにある学校づくり	4	保護者や地域に開かれた信頼される学校づくり	学校と地域が協働することで、子供たちの学びや成長を支えるための取組を行うとともに、地域、保護者への発信を通して信頼される学校づくりを行う。	○地域への感謝の思いや愛着をもたせるために、地域と共に協働して行う授業するとともに、地域行事等への参加を促す。	○地域とともに協働して行う授業や行事を通して三ツ城の地域や人へ肯定的な思いをもつ児童の割合（児童アンケート）	95%
				○学校だよりや学年通信、HP、CS通信等の発信を通して、学校の情報を保護者・地域に伝え、開かれた学校づくりを進める。	○学校の情報を地域・保護者に発信することを通して、信頼される学校づくりについて肯定的に答える保護者等の割合（アンケート）	90%
				○学年部や分掌部を中心としたチーム体制の強化を図るとともに、ストレスチェックの分析等により環境改善に努める。若手教職員によるセミナーの実施。	○「所属校は働きやすい職場である」と肯定的に答える職員の割合（教職員アンケート）	85%